

SBT(Science Based Targets)

認証取得と脱炭素への取り組み

■ 目標宣言

株式会社二ノ宮製作所は、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指し、2030 年度までに Scope1・2 排出量を 2022 年度比で 42%削減することを目標としています。

■ 中小企業版 SBT 認証取得

2025 年 4 月、中小企業版 SBT(Science Based Targets)認証を取得しました。本認証は、パリ協定が求める水準と整合した削減目標であることを、第三者機関(SBTi)が認定するものです。

■ 対象範囲と基準年実績

Scope	対象	2022 年度実績
Scope1	自社の燃料使用(LPG・ガソリン等)	196.9 t-CO2
Scope2	購入電力	486.9 t-CO2
合計(基準年)		683.8 t-CO2

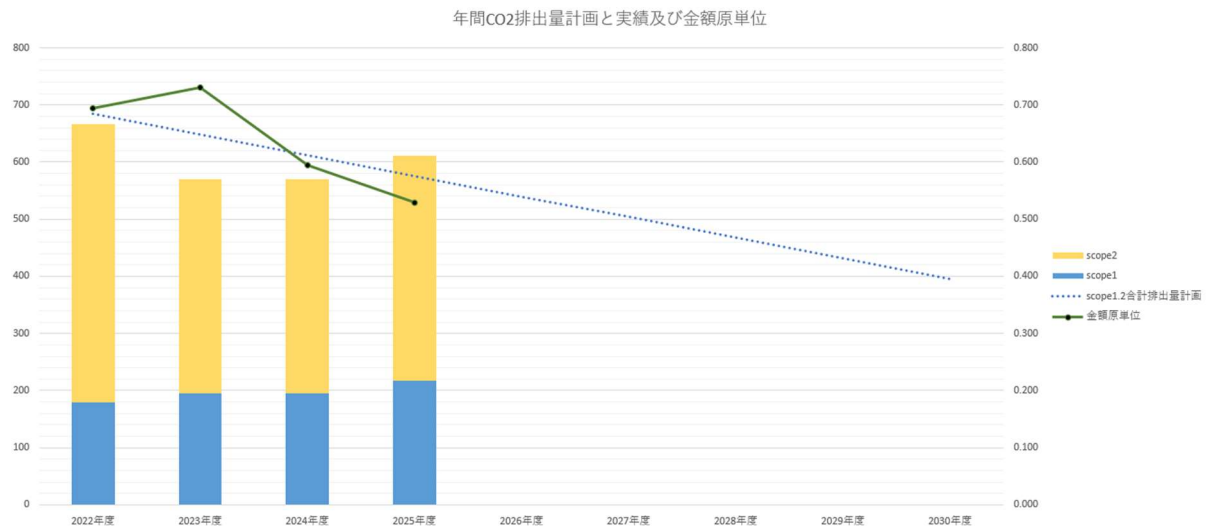
■ 削減目標

基準年度	目標年度	削減率	目標排出量
2022 年度	2030 年度	▲42%	395.8 t-CO2

■ 現在の進捗（2025 年度実績）

生産量増加に伴い絶対排出量は変動していますが、単位当たりの排出原単位は大幅に改善しています。

指標	2022 年度	2025 年度	改善率
Scope1+2 排出量	683.8 t-CO2	611.0 t-CO2	▲10.6%
生産量当たりの 排出原単位	0.694 t-CO2/ 百万円	0.513 t-CO2/ 百万円	▲26.0%削減



2025年度は目標 575.8 t-CO₂ に対し実績 611.0 t-CO₂、35t の超過となりました。しかし生産が増加している中で、売上 100 万円当たりの排出は 26%削減。これは、生産効率の向上、省エネ設備の導入、電力構成の改善等により、生産量当たりのエネルギー消費が低下していることを示しています。

■ 主な取り組み内容

- LED 照明への切替、高効率空調・コンプレッサの導入
- 電力ロガーによる設備毎電気使用量見える化
- 低温乾燥塗料の導入
- 太陽光発電(自家消費)導入の検討
- グリーン電力(トラッキング付非化石証書)の購入検討
- 塗装乾燥炉の電化検討

■ 今後の情報開示予定

- CDP 質問書への回答(2026 年)
- サプライヤー・顧客との協働による Scope3 削減の推進